

研 究 結 果 報 告 書

韓国ソウル神学大学校
吳 炫錫

【研究のテーマ】

1990年代以後、韓国の大衆文化にみられる他者としての「日本」

【研究結果】

本研究は1990年代、韓国の大衆文化で「日本」という国に対する言説がどのように構築されてきたのかを検討したものである。韓国では日本の植民地支配による歴史的トラウマから「日本」という他者を対象に絶えず、ナショナルな言説を生み出してきたのである。

このような社会的背景は、大衆文化にも影響を与え、日本の大衆文化の輸入が禁止されており、日本の大衆文化に接することが難しかったのである。しかし、1990年代に入ってから、このような状況は変わりつつあった。すなわち、1990年代は、脱冷戦時代の渡来とともにグローバリゼーションという地政学的な変動が起きた。これによって韓国は社会も変化が生じ、日本に対する言説も変容が生じたのである。

本研究はこのような社会的な背景に注目し、韓国の大衆文化という境域で「日本」に対する表象がメディアを通じて、どのような言説を構築してきたのかを分析したのである。

本研究は、このような問題意識に基づいて、韓国の大衆文化に関するメディアを分析した結果、以下のようなものを明らかにした。

第一に、1990年代以後、韓国では「日本」という他者は、反日ナショナリズムや敵対感などは徐々に薄くなっている傾向性がみられる。すなわち、既存のイデオロギー装置的な機能から脱皮し、新たなナショナルな言説を構築してきたのである。このような現象は、特に若者を中心にみられる。

第二、2003年から日本での韓流現象を通じて、新たなナショナルな言説を構築してきたのである。それは、いわゆる大衆文化を通じて、自国のスターに対するセレブリティ現象である。つまり、日本の韓流を「日本」という国を消費することではなく、韓国のスターを消費しながら、自国に対するアイデンティティを構築していくのである。

本研究はこのような考察を通じ、韓国でのナショナルな言説がどのように構築しているのかを明らかにしたと言える。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

2025年2月14日(淑明女子大学の予定)韓国日本学会の学術大会で発表を予定している。

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

2025年2月、韓国日本学会の学術誌「日本学報」に投稿する予定である。

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)

Completion Report

Seoul Theological University

Oh Hyun Suk

Subject of Research Project :

After the 1990s, “Japan” as the other in Korean Popular Culture

This paper examines how the discourse regarding the country “Japan” was constructed in Korean popular culture in the 1990s. In South Korea, due to the historical trauma caused by Japan's colonial rule, a national discourse has been constantly created that targets the Other, “Japan”.

This social background also had an impact on popular culture, and imports of Japanese popular culture were prohibited, making it difficult for people to come into contact with Japanese popular culture. However, since the beginning of the 1990s, this situation has been changing. In other words, in the 1990s, with the arrival of the end of the Cold War era, a geopolitical change called globalization occurred. As a result, South Korean society changed, and the discourse on Japan also changed.

Based on this awareness of issues, this study analyzed the media related to Korean popular culture and clarified the following.

First, since the 1990s, there has been a tendency for anti-Japanese nationalism and hostility towards the other country, “Japan”, to gradually diminish in South Korea. In other words, it has broken away from its existing ideological device function and constructed a new national discourse. This phenomenon is especially seen among young people.

Second, since 2003, a new national discourse has been constructed through the Korean Wave phenomenon in Japan. It is a celebrity phenomenon for stars of their own country through so-called popular culture. In other words, rather than consuming Japan's Korean wave as a country called “Japan”, they construct an identity for their own country while consuming Korean stars.

Through such considerations, this study can be said to have clarified how the national discourse is constructed in South Korea.